

VOL.3



KIDS-VOX

the kids

葉屑集

VOL. 3

立春

"アガ스티アの葉"なるものがインドにあるらしい。

たんざくのような板状の葉にその人の運命が書かれていて、生年月日から始まり職業は何を選ぶか? 結婚相手は? 子供は何人できて、いつ死ぬか、といったことが正確に記されているらしい。なんでも大昔に書かれたもので、インドの坊さん達によって書き継がれてきたということだ。そういう意味では「聖書」とその生い立ちが似ているかもしれない。年末のTV特集だったので見た人もいるかもしれないが、番組の中で、女優の名前や生年月日、両親の名前等がズバズバと当てられていた。(というよりも、その葉っぱに書かれていた) けっこう、ぶったまげた・・・

そしてその後、すぐに困った。やっぱり運命なんてものは、人にどうこう云われたくない類のものだ。自分の運命が何百年も昔から決められていて、その通りに生きているだなんてあまり考えたくないだろう。

僕は時々、自分で自分のアガ스티アの葉を書くことにしている。一生という期間は長すぎて現実味が薄いので、一年くらいにする。それでも少しぼんやりしてるから、一日にしてしまう。前の日の夜、明日の計画を立て、ノートにメモっておく。

・・・まるで、遠足の前の日のように心がウキウキしてくる。異論のある人もいるだろうが、これは好きずき。僕はこれでけっこう人生を楽しんでいる。

桐 明 孝 治

1995' 西やんの抱負

ハイ! まあ、今年は間違いなく“紫陽花”が売れてしまうので、その発売に合わせてのライブにまずは全精力 いや、全勢力を注ぎこんで猪突猛進するという事!!

そして今回は、宣伝面で大阪・九州等でも強力体制を整えているのでそれぞれ各方面にも出向く機会が多くなる、という事で十分な体力をつけたいですね。あと、やっぱりいろんな音楽を聴いて、まだまだこれからもプレイヤーとしての実力をもっと、もっと練習して身につけていきたいものですね。そして今、俺が最もはまっているコンピューターへの理解をさらに深めていきたいと共に、いい曲を作っていきたいと思う所存でございます。・・・カッテえー!!!

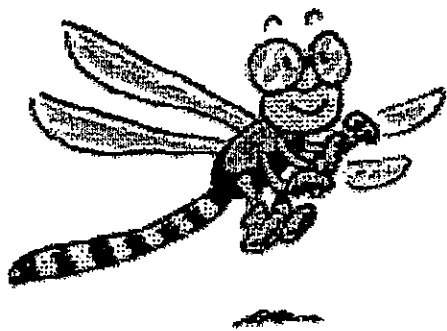
STORY OF THE GLORY

～4月生まれの錯覚～

僕の田舎は、九州は博多。白魚で有名な室見川という場所にある。

中心地、天神・中州には地下鉄で10分、海まではチャリンコで30分、川を上ればすぐに山が広がるという、少年時代を過ごすには絶好のカンキョウで育った。

中学2年くらいまでは、神童(?)と呼ばれていたが、これは後になって4月生まれの錯覚ということが判明する。3月生まれの奴より1年早く人間をやっていたわけだから、勉強も運動神経も少しくらい高いのは当たり前だったということだ。そのせいで、僕はあまり努力をしなかった。なりゆき、高校受験に失敗した頃から僕は、かつての神童からただのヒトに転落していくことになる。



神童(?)だった頃、僕は、昆虫博士になろうと思っていたらしい。家のまわりにふんだんに存在する自然を歩きまわり、かなりたくさんの詩や研究録を書いていた記憶がある。

今でも憶えているものに、「酔っ払ったゾームシ」という詩がある。家の街灯に飛び込んできたゾームシに、砂糖水をやったところ、酔っ払ったようにフラフラ

になったという散文詩?小学校2・3年だったかなあ、先生に褒められたのが嬉しかったのでよく憶えている。

他にも、死んだカブトムシの蘇生術や中枢神経のポイントなど、ファール昆虫記をむさぼり読みながら、詩と研究記録をつけるのが好きだった。

今でも昆虫や植物は好きだが、でっかい食用ガエルやヘビなんかは、もう手をつかめなくなってしまっているだろう。

・・・人は何故、こんなにも衰えてしまうのだろうか?

とにかく、僕が神童(?)ではなくなり、全てのザセツの中で音楽にめぐり会い、またもや自分のことを天才(?)と錯覚してしまう「コンプレックス・ヒーロー編」は、次号で!!

桐 明 孝 治



A Happy New Year

みんなー!! 風邪ひいてないかい? . . . と、
とりあえずこの号を作ったときは、まだ正月気分バリバリだったので、
新年のご挨拶をみんなにしておきます。
どうか、本年も応援を宜しくお願いいたします。

さて、kidsはですね、3月24日発売の待望のニューシングル”紫陽花”に向けて
メンバー・スタッフ共々、プロモーション活動に東奔西走しておるところであります。 . .
今回はその模様を皆さんにお知らせいたしましょう。

みんながクリスマス気分になって、彼氏・彼女とイチャイチャしている真っ最中、
kidsはちゃんと仕事してたんだぞう。

まずは去年の12月18日、大阪の千里中央にある”セルシー”でのキャンペーン。ここは、
1階に大きな広場があって、まわりはいろんなショッピングができたり、スポーツができる
システムがあったりする建物で、その広場で有線がらみの営業をやってきたのです。

何と! kids初のカラオケを使っただけのライブ! という事で、はじめは”やっぱりRockバンド
でカラオケは . . ?” と、かなり不安指数が高かったのですが、お客さんの層が買い
物帰りのオバちゃんや子供たちときたら、カラオケの方がより伝わりやすいだろうとい
う憶測のもとにやったところ、大成功!!

同じ日にアイドルの人達も出演する、という事で、カメラ小僧達の冷たい視線を前に
して始まったライブ|悲しみ . . .、東京レイン、紫陽花、雪は . . .、の4曲|も、紫陽花が終わ
った時には、カメラ小僧達も熱い拍手を送ってくれたという、大変貴重なライブでした。

そして、ライブが終わった後にはステージの袖で、CD即売サイン会!! これも初めての
経験。まあ、一枚でも売ればいいのか、と思っていたところ、何と! 中高生の女の子や、
すでにCDを持っている子までもが続々と買って行ってくれた、という記録的な即売会だ
ったのでした。買ってくれた人、どうもありがとう!!

そして、その後12月23日から25日まで、九州キャンペーン!! 見事にX'mas☆をはさん
だこの強硬スケジュール。メルダックの松井ちゃん、ありがとう . . .

どうせ俺らなんかクリスマスなんて関係ねえんだからヨー! 仕事してる方が気が晴れ
ていいやねーだ。(チョット僻みがいってたけど . . .)

まずは23日・大分に出かける日の朝の出来事 . . .。桐やんは実家からの出勤で俺
が泊まっているホテルで集合したんだけど、何と二人は色は違うものの全く同じコリン
スの(N3-B)を着ていたのです。桐やんが金色で、俺が銀色 . . . これぞまさに二人あ
わせて”金さん・銀さん kids”になってしもうた次第で、”ヒャクサイ・ひゃくさい”、
てな感じじゃった。 . . いや実はね、桐やんが前からそれを持っていたのは知って
いたんだけど、たまたま大阪の俺の実家の近所のスーパーで安く売ってたんですよ。
(値段はあえて書かないけど、ほんとに安かった。) それで、まさか桐やんが九州キャ
ンペーンでそれを着てこないだろうなあ、まあ、万が一着てきても”金さん・銀さんネタ
”でラジオとかで一つ聞かせるのもつなあ、と思ってたら、そのとおりになっちゃった . . . という
わけですよ。

・・・ナッ!この俺の一つのネタに賭けるこの情熱! ヨッ、憎いね! (何言うてんねんコイツ・・・ ほっとけ ほっとけ)・・・で、実は桐やんもそれはそれはかなり安い値段で買ったその(N3-B)よりも、ぜんぜん安い値段で俺が買ったもんだから、桐やん機嫌悪し状態! まあ、大分は遊歩公園という所でアコースティックライブを演ったんですが、この日はそのブルーな桐やんに尽きる一日でした。大分に来てくれたみんな、どうもありがとう(ライブは、最高だった事も付け加えておきます。)そして、24日佐賀・25日博多、2日ともラジオ生出演+生ライブという事で、実は大変だったんです。何が大変ってね・・・ON AIRと、モニターと、出音のバランスが大変だったんです。結果的には、ON AIRもライブもピシャリだったんだけど、何しろ俺達はライブバンドだから出音には、すごく気を配るわけですよ・・・。が、しかしラジオ局のスタッフ達は、どうしてもON AIR中心に音を作っていくわけです。だから、その辺のバランスをとるのがとても難しかった。佐賀はNBCという放送局の狭いスタジオで、20人くらいのお客さんを入れて番組のゲストとして出演したんだけど、桐やんと二人でお客さんの層はどんなかねえ?とかいう感じで楽しみにしていたところ、何と見事に彼等はかの有名なラジオお宅の方々だったのでした。kidsは困りました・・・。あんまりこういう人達の前で演奏した事もないし、手を伸ばせば膝に触れるほどの距離にお客さんはいるしで、桐やんとも”しょうがない、いつもどおりにやるしかない”という感じでやったら、やっぱりお客さんはシャイで、うつむき加減のままにライブを終えました。佐賀のみんな、次回をもっと打ち解けようね・・・!!

・・・ということで話は博多に移ります。博多はKBCの中の一階の広場で、やはりゲストの枠で生放送ライブを演ったわけですが、やっぱり博多は熱い!! っていう感じですね。チャリティー番組という事もあって、いろんな方々がKBCの広場に集まっていたのですが、いきなりkidsのリハの途中で酔っ払いのオッさんは叫んでるし、桐やんにケンカをふっかけるオッさんはおるしで・・・ オーこわ、って感じで、この坊ちゃん育ちの僕にはとてもついていけな一世界でした。ああ、野蛮 野蛮・・・冗談でっシェー!! とにかく、波乱づくしの中いよいよ生本番!! 心配していた酔っ払いはスタッフが何とかしたらしく、席にはついていなかったのととりあえず安心して二人とも演奏に集中出来ました。あ〜♪♪ 言い忘れてたねー! 桐やんと俺だけでどうやってライブをやったか? っていうこと・・・ゴメン ゴメン。まあ、今回のキャンペーンはカラオケも含めてですが、桐やんはアコギとハープ&ボーカル。そして俺は、ボンゴとタンバリンとシェーカー&コーラスという編成で、非常にお手軽にライブが出来ちゃうわけです。ま、聴いたことがある人も多いと思いますが、すごいかっこいいでしょ?・・・なんて、自分達で言ってますが いや、本当にかっこいいんです・・・パーカッションが・・・ハハハ、ウソ ウソ・・・もう、ほっといてちょうだい。。

ま、そういう具合にKBC(サンデーランキングスペシャルという番組)でのライブも大成功に終わり、94年の仕事納めと相成ったわけです。博多のみんな、あのクリスマスの日を忘れるなよー!!

チャン♪チャン♪

西川 貴 広



STORY OF THE GLORY

～ミート・ザ・ミュージック～

正月合併号ということで、2号連続掲載である。

小学校4年の時、兄貴のビートルズを盗み聴きして、「おまえにはまだ早い」と、とりあげられたのは有名なハナシ? であるが、僕にとってのビートルズは、その体験がリアルタイムではなかったにせよ、アルバムを順番通りに聴いたことが後のバンド観を決定しているように思う。

バンドとは進化するものであり、また、その寿命を全うするものであるという感覚を、映画"Let it be"を見てぼんやりと感じていた。事実、オノ・ヨーコのような存在は、どこのアマチュアバンドにも見られず、kidsにも存在していた。(その時、僕はポール・マッカートニーの役回りだったが…)

ともあれ、小学生にとってサージェントペパーズやホワイトアルバムは、少々難解だったようだ。中学に上がり、日本のフォーク・ブームも手伝って、井上陽水の詩と曲にはまってしまった。

生まれてはじめて自分の小遣いで買ったLP盤が"氷の世界"というアルバムで…。これはもうすりきれるほど聴いた。生まれてはじめてギターで弾けた曲も"夢の中へ"という佳曲であった。

またその詩の世界も、思春期のヘリクツ小僧にはピッタリのものだった。

♪窓の外ではリンゴ売り声をからしてリンゴ売りきつと誰かがどこかでリンゴ売りのまねをしているだけなんだろう…♪

リンゴ売りなどという商売も無いし、その真似をする人はいったいどんなヒッピー野郎なのだろうか、と思ったものだ。とにかく面白かった。

"招待状のないショー"というアルバム以降、陽水を全く聴かなくなったのは何故だろうか? たぶん井上陽水本人はその理由を知っていると思う。そして陽水は、それでいいと笑っているような気がする。…話が少しムツカシクなったが、僕の音楽体験は、ギターが弾けるようになってますますどっぷりとその水にはまっていってしまうことになる。キャロル・チューリップなどという和製ビートルズ的なバンドとの出会い、受験という壁にぶつかるまで眠っているとき以外は、必ずギターかベースを弾いていた。

そこへ高校受験である…。

中学3年になって、僕ははじめて勉強した。ギターをケースにしまい、ガムテープでぐるぐるまきにしてタンスに押し込んだ。1日4時間の睡眠で、軍隊式に勉強した。人間は、目の前にニンジンぶらさげられるとヤル気になるもんである。今考えてみると、親父の口車にノセラレタだけかもしれないが…。

修猷館(シュウウカン)という公立の高校があり、兄貴が通っていた。県下1、2を争う名門でもあり、またその自由な校風に憧れた。文化祭ともなれば自称ジョン・レノンがたくさん出現して、共学ということもあり、それはもう楽しそうだった。「もし、修猷館に合格すればベースも買ってくれるし、音楽をやってもよい。しか

STORY OF THE GLORY

し落ちれば、父の母校であり男子校である、西南高校のハンドボール部に入り、3年間グラウンドにその青春をうずめ、音楽も禁止する。」というのが親父の出した条件だった。僕は勉強した。修猷館のキレイなねーちゃんに囲まれて、バンドをやっている自分を夢見ながら、アトにもサキにもこれほど集中して勉強をしたことはなかつたろう。完全合格圏内と先生に言われ、模擬試験もなんなくクリア。合格を確信していた……。

その過信が油断を呼んだ。アッサリと落ちてしまったのだ。皮肉なことに、西南高校は修猷館のウラ手にあり、ほとんどの修猷受験生が、スベリ止めに西南を

受けていた。落ちた奴は皆、毎朝、その屈辱を横目に見ながら登校するのである。しかも、あっちは共学、こっちは男子校。当然、その生活は荒れる、荒む。

……僕はここからかつての神童ちゃんから一気に奈落の底へと落ちていくのである。

入学式当日、新しい人生の一步を踏み出す教室では、ダブリ(留年生)によるリンチ事件が早くも勃発していた。

つづく……

桐 明 孝 治

【 ころらでちよつとTea time 】

この中に「あじさい」がタテ、ヨコ、斜めに隠されています。さて、いくつあるでしょう？
そしてもう一つ！大変偉大なアーティストの名前が隠されています。さて、誰でしょう？

正解者の中から5名の方にkids特製バンダナをプレゼントするぜ！

あじさいかぐまれこいさしあじさひつぎうおやすみいさじあ
くがじまりえねをさちとたてあくらぶゆさつさそひさあそむへ
あいさぎけじんじざきつすじさいんおてにじよほじなじとろぬ
じしまにめすあいしばくさいのうきみはあじさくいつもさゆさ
さとがしれじとじさいみこひかんさいあばんちざさあいきめぜ
いまあんならやいあさじきえぶごのんじさいじくべむじさいづ
あぬすしそうおぼさいあせうようじいれへむさぶあわぞもげな
ぞせらつるねでばくむおりばえほよあいしていさじそなすのず
たちいさじあきまじいめおよごがじめちとせあわさべむぬくむ
ばがこびめふきけばまへうざしさうあめれしむついづとへほね
ぬふあうえおどじはきすごかいぎさいあけめみぎじいつべむこ
ちとじいあげむへんいきねえをもんにおげぜみんなありがとう

kids News 1995

In-1

《『紫陽花』発売》

the kids 待望のNEW SINGLE!

怒りや気負いだけがROCKじゃない。

優しさと夢を唄う誇り高き正統派 . . . the kids!!



MEDR-11031

ついでに、ラジオ・有線等友達もさそって、
リクエストをジャンジャンたのむ!!

In-2

《レギュラー番組の事と阪神大震災の事》

kidsが昨年10月からお世話になっている神戸のkissFMも、今回の地震の影響をもろに受けて、プロデューサーの坪井さんやその他、皆さん大変な思いをしてるけど、こんなときだからこそ、桐明のあったかでパワフルなコーナーを関西の人達に聴いてもらって、少しでも元気になってもらえたらと、がんばってくれている。皆も、手紙やハガキで援護射撃をしてくれ!!

それから神戸の地元の人達、本当に大変だけどガンバッテ下さい。

(kissFMの住所)

■■■■■■■■■■

■■■■■■■■■■

(桐明のやってる番組)

kissFM MIDNITE kiss (月~日 24:00~25:00)

木曜担当 WILD KISSです。

関西一円で聴けるぞ!!

kids News 1995

In-3

《おまたせ!! ライブ決定!》

“LIVE!LIVE!LIVE!”

~1995 COMPLETE the kids~

4/18 (火) 大阪ミューズホール (free)

4/24 (月) 渋谷クラブクワトロ

18:00 OPEN 19:00 START!!

ひさびさのライブ!!

気合いはいつてます ヨロシク

the kids Fan Club 「kids Vox」のお知らせ

再三お知らせしておりますthe kids Fan Club 「kids Vox」の入会について、只今口座振替用紙を作成中です。できあがりしだい、発送させていただきますので今暫くお待ちください。またすでに入会希望のお手紙を、あるいは現金書留にて送って頂いた方は、順次登録しておりますので再度手続きをする必要はございません。

the kids Fan Club 「kids Vox」についての御意見・御要望・御質問等ございましたら、下記までお問い合わせください。よろしくお願いたします。

メル音楽出版株式会社

the kids Fan Club 「kids Vox」係宛

TEL: [REDACTED] FAX: [REDACTED]

kids-vox vol.3

1995年3月20日発行

メル音楽出版株式会社

TEL :

FAX :